

くりしま

《本園の教育目標》

- 元気がある ○自分のことは自分でする
- 仲良く遊ぶ ○ものごとに興味・関心をもつ
- 思ったことを話し、人の話を聞く
- 体験や考えに感動する ○工夫して表現する

《栗島幼稚園ホームページ》 [栗島幼稚園](#) 検索 [Instagram](#) kurishima1955



『輝きあふれた二学期』

園長 矢田 泰久



師走の寒さが身にしみる季節となり、今年も残りわずかとなりました。一年の締めくくりとともに、充実した二学期の終業式を迎えられ日々の保育を支えてくださった保護者の皆様地域関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

二学期は行事が多く、子どもたちの成長が特に大きく感じられた学期でした。運動会では全力で走り、友だちと一緒に力を合わせる姿が見られ、そのひたむきさに心を打たれました。おゆうぎ会では練習を積み重ね、自信に満ちた表情で舞台に立つ子どもたちの姿が輝いていました。これらの経験は、子どもたちの体を鍛え、表現する力を育み、心を強くし、さらに仲間への思いやりや学級の一員として達成感を育んでくれたことでしょう。

日々の保育の中でも、友だちとの関わりを通して喜びや葛藤を経験しながら、心と体の基礎となる力が着実に育ってきました。挑戦しようとする気持ち、できた喜びが積み重ねられ、子どもたちの成長を身近に感じる日々でした。

年末は一年の疲れを癒し、新しい年を迎える準備をする大切な時間です。どうぞ健康に気をつけながらご家庭ならではのゆったりとした時間をお子さまとお過ごしください。日々の小さな体験が、子どもたちの心の栄養となっていきます。迎える新しい年も、子どもたちが笑顔で登園できる環境づくりに努めてまいります。

開会のことば



【おゆうぎ会 12/13】

閉会のことば



ひまわりぐみ

ももぐみ



さくらぐみ

うめぐみ



ちゅうりっぷぐみ

たんぽぼぐみ

【クリスマス会 12/18】



サンタさんの登場を楽しみにまつ子どもたち



プレゼントありがとう



年少：あわてんぼうのサンタのお話

全日本幼稚園連合会が発行する機関誌(12月号)に、日本ペップトーク普及協会代表理事の岩崎由純さんが『子どもの心が育つ魔法の言葉がけ「ペップトーク※」』と題しての掲載がありました。素晴らしい内容でしたので、保護者の皆様の子育てのご参考にしてください。

※「ペップトーク」とはスポーツの指導者が選手に語り掛けるコミュニケーション技法。

子どもは毎日いろんなことに挑戦し、時には失敗したり、おもしろい行動をしたりします。そんな子どもたちの気持ちを受け止め、「やってみたい」という内側から湧く意欲を育てる言葉かけが「ペップトーク」です。

もともとはスポーツの現場で使われる短く前向きな励ましの言葉。教育でも子どものやる気をぐんと引き出す方法として注目されています。効果の土台になるのは「信頼関係」です。保護者の皆さん、園の先生方は子どもにとって身近な“ドリームサポーター”です。以下の大人の言葉かけが子どもの心に魔法のように届きます。そして、子どものその気を育てます。

① 存在を認める言葉

例:「そばにいてくれてうれしいよ」→ ありのままの子どもを受け止め、子どもが最も安心できる言葉です。

② 受け入れて励ます言葉

例:「ピーマン、まだ苦手なんだね」→ 「まだ」は成長の可能性を伝える魔法の言葉です。

③ 可能性を信じる言葉

例:「〇〇ちゃんならできると思うよ」→ 大人の期待は子どもの力を引き出します。

④ 行動をほめる言葉

例:「早起きできたね！すごい！」→ 日々の小さな成長を見つけて伝えることが大切です。

⑤ 挑戦を評価する言葉

例:「お着替え頑張ったね」→ 結果よりも「やってみたこと」を認めると、次のやる気につながります。

⑥ 感謝の言葉

例:「手伝ってくれてありがとう」→ 行動を認めてもらう喜びは、子どもの心を大きく育てます。

⑦ 成功と一緒に喜ぶ言葉

例:「できたね！よかったね！」→ 小さな成功を一緒に喜ぶことで、自己肯定感が育ちます。



毎日の短い声かけでも、子どもの心は大きく変わります。肯定し前向きな言葉は、子どもの内側から湧いてくる意欲を育て、可能性を大きく伸ばしていきます。

結びに、感染症が猛威を振るう中、苦しく辛い状況に見舞われないよう予防に努め、健康と平穏な年末をお迎えください。12日後は令和8年(2026年)を迎えます。少々早いですが、一年を閉じるにあたり皆様のご協力とご支援に深く感謝申し上げますとともに、新年も子どもたちに希望と夢に満ちた喜びいっぱいの年となりますことを祈願いたします。1月8日(木)から始まる三学期も、たくさん遊び自立と主体的で豊かな学びが深まりますように。

